

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	2週	1週	第2週		第1週		第2週		第1週		第2週		第1週		第2週		第1週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	1762	1903	201	167	52	10	128	100	45	7	16	34	3	3	57	33	4	0
咽頭結膜熱	27	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	144	54	14	0	1	0	8	0	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0
感染性胃腸炎	209	43	33	13	6	0	29	4	5	0	0	1	0	0	4	8	1	0
水痘	19	40	5	10	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
手足口病	6	5	1	4	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	69	10	8	0	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
突発性発疹	23	5	3	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	23	18	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	18	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

県中地域の状況

**流行中** 現在、インフルエンザ・伝染性紅斑の流行が続いています。

**小流行中** 現在、小流行している感染症はありません。

感染性胃腸炎対策!! ~消毒方法~

県中では感染性胃腸炎が増えてきています。嘔吐や下痢を引き起こすウイルスとしてよく知られているノロウイルスは非常に感染力が強くて100個以下の少量のウイルスでも、人に感染し発病します。逆性石けんやアルコールでの消毒効果は十分ではなく、85℃で1分以上の加熱、または次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。

○次亜塩素酸ナトリウムの希釈

市販されている家庭用塩素系漂白剤(ハイター、ブリーチなど)の濃度は約5%です。右記の表は1リットルの水に加えて作る場合に必要な原液(5%と10%の場合)の量です。作りたい消毒液の量によって、使用する原液の量が異なりますので、原液の濃度を確認してから、右記の表を参考にして消毒液を作って使用してください。

○布団や絨毯などの消毒が難しい場合

吐物を静かにかつ丁寧に拭き取った後、スチームアイロンなどで加熱し、ウイルスを十分に不活化することが重要です。

消毒対象	必要な濃度	原液の濃度	希釈倍率	1リットルの水に加えて作る場合に必要な原液の量
便や吐物が付着した床やおむつ等	1000ppm (0.1%)	5%	50倍	20ml
		10%	100倍	10ml
衣服や器具などのつけ置きトイレの便座やドアノブ、手すり、床等	200ppm (0.02%)	5%	250倍	4ml
		10%	500倍	2ml

(注意)

- 皮膚に対する刺激が強いため、手洗いなど人に対しては使用しないでください。
- 使用するときは、換気を十分に行ってください。
- 酸性の強い洗剤と混ぜると有毒ガスが発生します。
- 薄めた消毒液は時間が経つにつれて効果がなくなりますので、作り置きはしないでください。
- 塩素は日光によって容易に分解するので、原液は直射日光に当たるところ、高温の場所には置かないでください。



この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu\_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp